

本協会は昨年、創立三十周年を迎えるに記念式典を盛大に催すことが出来ましたが、創立当時を省み位が十分認められてまいりまして、県内建設関係諸団体の中で電設業の存在を高く評価いたしました。この結果、関係機関の方々の格別なるご指導、ご支援とともに先達者の方々の協力を中心とした活動が実績を結んでおるものと、深く喜びを感じております。

これもひとえに県当局をはじめ、関係機関の方々の評価をいたさ、社会的地位が十分認められてまいりまして対し、心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、昭和六十二年度を顧みますと、我が国の経済は貿易摩擦や円高、ドル安に加え、昨年十月中旬の世界的な株式相場の大暴落があり急騰に一層拍車をかけ、日本経済は戻しさと不安定化が増したことは、皆様ご存じのとおりですが、政府の打ち出した内需拡大策や各産業の自主的合理化方策等により徐々に落ち着きを見せ、建設業界も明るい兆しが見えはじめたところであります。

しかしながら、公共事業協会は昭和六十二年度最も点事業活動として、公共土木工事に係る電気設備工事を中心とした施設で、建築

転換期の電設業界

社福島県電設業協会

会長 大 概

清



ごあいさつ

開会のことばを國津政夫副会長が述べたあと、大根清会長があいさつ「昨年は創立三十周年を迎えることができ、電設業の存在を高く評価いたしましたことに心から喜びを感じている。六十三年度は政府予算に積極的な内需拡大策が盛り込まれ、公事業は

感謝を申し上げる次第であります。

さて、昭和六十二年度を顧みますと、我が国は貿易摩擦や円高、ドル安に加え、昨年十月中旬の世界的な株式相場の大暴落があり急騰に一層拍車をかけ、日本経済は戻しさと不安定化が増したことは、皆様ご存じのとおりですが、政府の打ち出した内需拡大策や各産業の自主的合理化方策等により徐々に落ち着きを見せ、建設業界も明るい兆しが見えはじめたところであります。

しかしながら、公共事業協会は昭和六十二年度最も点事業活動として、公共土木工事に係る電気設備工事を中心とした施設で、建築

地下歩道橋などの電気設備工事や、電線地中化工事にはじめ、関係機関の方々の評価をいたさ、社会的地位が十分認められてまいりまして対し、心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、昭和六十二年度を顧みますと、我が国は貿易摩擦や円高、ドル安に加え、昨年十月中旬の世界的な株式相場の大暴落があり急騰に一層拍車をかけ、日本経済は戻しさと不安定化が増したことは、皆様ご存じのとおりですが、政府の打ち出した内需拡大策や各産業の自主的合理化方策等により徐々に落ち着きを見せ、建設業界も明るい兆しが見えはじめたところであります。

しかしながら、公共事業協会は昭和六十二年度最も点事業活動として、公共土木工事に係る電気設備工事を中心とした施設で、建築

地下歩道橋などの電気設備工事や、電線地中化工事にはじめ、関係機関の方々の評価をいたさ、社会的地位が十分認められてまいりまして対し、心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、昭和六十三年度を

團結と協調の精神を改めて確認

内需拡大策に対応

開会のことばを國津政夫副会長が述べたあと、大根清会長があいさつ「昨年は創立三十周年を迎えることができ、電設業の存在を高く評価いたしましたことに心から喜びを感じている。六十三年度は政府予算に積極的な内需拡大策が盛り込まれ、公事業は

感謝を申し上げる次第であります。

さて、昭和六十二年度を顧みますと、我が国は貿易摩擦や円高、ドル安に加え、昨年十月中旬の世界的な株式相場の大暴落があり急騰に一層拍車をかけ、日本経済は戻しさと不安定化が増したことは、皆様ご存じのとおりですが、政府の打ち出した内需拡大策や各産業の自主的合理化方策等により徐々に落ち着きを見せ、建設業界も明るい兆しが見えはじめたところであります。

しかしながら、公共事業協会は昭和六十二年度最も点事業活動として、公共土木工事に係る電気設備工事を中心とした施設で、建築

地下歩道橋などの電気設備工事や、電線地中化工事にはじめ、関係機関の方々の評価をいたさ、社会的地位が十分認められてまいりまして対し、心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、昭和六十二年度を顧みますと、我が国は貿易摩擦や円高、ドル安に加え、昨年十月中旬の世界的な株式相場の大暴落があり急騰に一層拍車をかけ、日本経済は戻しさと不安定化が増したことは、皆様ご存じのとおりですが、政府の打ち出した内需拡大策や各産業の自主的合理化方策等により徐々に落ち着きを見せ、建設業界も明るい兆しが見えはじめたところであります。

しかしながら、公共事業協会は昭和六十二年度最も点事業活動として、公共土木工事に係る電気設備工事を中心とした施設で、建築

第37回通常総会を開催

事業量の拡大に重点



発行所
社団法人 県電設業協会 清
福島県
発行 大根
郵便番号 960-9-6
(福島県電協会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷(株)福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

新装開店!。。。
お気軽にお立ち寄りを

出し入れ自由
どんどん植える

中国ファンの

日興證券

福島支店
福島市大町4-4 ☎960
0245-22-7111

らいにした。
統一して来賓として出席した
吉田修一福島市長が、「地域
経済を発展させるため、皆さ
ん協力し企業誘致へ向けて
情報の集収にあたっていきた
い」と祝辞を述べた。

このあと佐藤春雄氏(福島
支部長)を議長に議事に入り

て、下請要素が強く、收

工事をはじめ、道路、隧道

などに積極的に取り組むと
ともに、交通信号機の清掃

奉仕を行うなど、県行政に

来賓紹介・祝電披露のあと
土木部長が祝辞述べた。

高木孝夫県建設技術センター
理事長の音頭で乾杯し、なご

やかに祝宴に入った。

以上で議案審議を終了し、

遠藤雄藏副会長が閉会のこと

ば述べた。

以上で議案審議を終了し、

遠藤雄藏副会長が閉会のこと

ば述べた。

工事業界は大きな転換期を迎

度事業報告並びに同決算書の

承認について上程された。

そして事務局から会員の状況、

事業概要(公共事業の完全遂

行・地方公共団体に対する

協力)、研修会・講習会・啓

業水準の高度化・創立三十周

年記念事業・ケループ保険の

充実・地方公共団体に対する

一層技術の研鑽を



福島県知事 松平勇雄

本日、社団法人福島県電設業協会第三十七回通常総会が盛大に終了され、予定された議題も順次審議を終了されました。このあとも、各支部ごとの実施状況は次の通り。

皆様には、日頃から社会資本の整備と建設産業の振興を通じて県勢の伸展に特段の御支援と御協力をいただいているところでありまして、厚く御礼を申し上げます。

申し上げるまでもなく、福島県電設業協会は、昭和三十二年社団法人として設立されて以来、施工技術の向上、経営管理の合理化に努められ、社会的地位の向

上と業界の発展をめざして各般の事業を積極的に展開され、多くの実績を挙げてこられたところであります。さて、最近の我が国産業界を取り巻く環境は、国及び企業の円高対応の努力とが並んで、景気も順調に拡大過程を歩んでおり、公共事業や民間

ある電設業界におかれましては、今後一層技術の研鑽と人材の育成に努められるとともに、他業種との協調による効率的な施工を行わ

ります。とりわけ、専門工事業では、今後隆盛と皆様の御活躍、御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とい

たします。

終わりに、貴協会のますますの御隆盛と皆様の御活躍、御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

だいたいと考えるものであります。県といたしましては、昭和六十三年度当初予算において、一千六百七億九千三百万円、対前年度比十四・五パーセント増の公共事業費を計上し、二十一世紀に向け飛躍する県土の基盤づくりを積極的に推進していく所存です。

また、

お

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

島実現の歴史的な橋でもある
青函トンネルの開通とともに、日本四島を一本のレールによって完結した一本列車

泊三日の日程で行われた。
この行事は、創立時より実施されており、会員相互の親睦を深める上では、まことに適切な催しである。橋梁技術世界一を誇る日本が、技術の枠を結集し完成した偉容を目のあたりに見ることであった。

寄稿

瀬戸大橋と四国の旅

郡山支部・株山電機製作所

成田幸一

我が橋を、車でわずか十四、五分。電車にすれば数分足らずで本州に行ってしまう。時間にすれば、確かに大きな短縮であり、四国の経済圏も大きく変わること思う。

しかし、通行料金はちょっと高すぎる。バスで片道一万七千円、六十人乗りとすれば一名当たり三百円弱



あづま球場

夜間照明が完成

地元業者が実力発揮

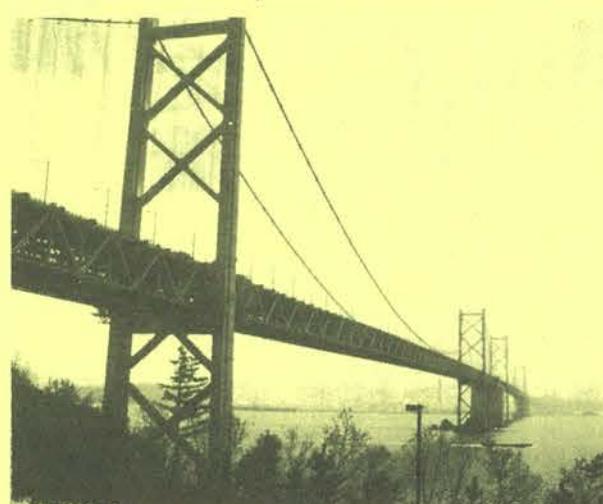
昨年十一月から福島市のあづま総合運動公園公式野球場（県営あづま球場）で進められた夜間照明塔建設工事が終盤を迎え、六月一日照度試験のため初点灯された。同工事は、県が総工費八億円をかけて進めているもので内野・外野を合わせて六基の照明塔が建設されている。照明塔一基には百二十四個の照明と、電撃殺虫器が設備されている。

試験は午後六時過ぎから、県福島建設事務所の佐藤秀雄次長をはじめ工事関係者ら約三十人が見守る中開始され、照明が全て点灯するとまぶし



62年度 建築・設備工事の検査結果

県土木検査課がまとめ



瀬戸大橋

この橋は、一世紀前にすでに計画があつたと聞くが、當時は夢物語として一笑にふされたいきさつがある。そして今、十年の歳月と延べ九百万人の橋男、一兆三千億円の巨費を投じ、そして十七名の犠牲者を出しながら、完成したこの大橋は、

この大橋によつて四国は、日本四島を一本のレールによって完結した一本列車

今まで連絡船で二時間かかっていたものが、九・四四まで

一般的にしたらどうかと

そうか！と感銘を受けた。

この橋は、日本が一兆三

千億を早く償却しよう等と考えずに、もつと料金を安

く一般的にしたらどうかと

そうか！と感銘を受けた。

この橋によつて四国は、

日本四島を一本のレール

によって完結した一本列

車

